

# 計画の基本的な考え方

## 1 計画の基本理念

### 子どもたちが夢を拡げ、子どもとおとなが育ち合うまちづくり

近年の急速な少子化・核家族化の進行、近隣とのつながりの希薄化等による子育ての孤立化、深刻な経済不況や就労環境の悪化、共働き世帯の増加やライフスタイルの多様化、若者の結婚や家族に対する価値観の変化などを背景に、家庭や地域における「子育て力」が低下するとともに、児童虐待や子どもを巻き込む犯罪の増加などが大きな社会問題となっており、子どもと子育て環境は、一段と厳しさを増しています。

本市では、「川西市次世代育成支援対策行動計画」において、次代を担う子どもたちが夢を抱き、拡げ続けていくために、一人ひとりの個性や自主性を尊重できる社会をおとなたちが実現していくことができるまちづくりをめざして、「子どもたちが夢を拡げ、子どもとおとなが育ち合うまちづくり」を基本理念として定め、多様な子育て支援に取り組んできました。

子どもは、社会の希望であり、未来をつくる存在です。子どもの健やかな育ちと子育てを支えることは、一人一人の子どもや保護者の幸せにつながることはもとより、社会の発展に欠かすことができません。そのためにも、子どもに限りない愛情を注ぎ、その存在に感謝し、日々成長する子どもとともに、親も親として成長していくことが大切です。

また、人が家庭を、家庭が地域を、地域がまちを築いていくことから、親や家庭が子育てを主体的に行っていくことを前提としながらも、社会全体が積極的に子育てに関わりを持ち、時代を担う子どもの健全育成を図ることが、まちの成長につながります。

今後はさらに関係機関や様々な担い手との連携・協働のもと、人に優しいまちづくりと地域づくりをめざして、児童の健全育成と子育て支援事業を進めていきます。

## 2 基本的な視点

### (1) 子どもの視点

子どもの幸せを第一に考え、すべての子どもが人と人との関わりを通して豊かな人間性を形成し、自立した時代の親になっていけるよう、子どもの視点に立った取り組みを進めます。

### (2) 家庭の視点

子どもを生き育てている男女が、子どもとの生活に喜びと安らぎを感じ、子育てを通して親として育ていけるよう、子育ての基本的な場である家庭の視点に立った取り組みを進めます。

### (3) 地域の視点

地域の人々が子育ての喜びや苦勞をわかち合い、ともに子どもを見守り育てていく豊かな子育て環境を築いていけるよう、地域での自主的・主体的な活動を推し進める地域の視点に立った取り組みを進めます。

### (4) 仕事と生活の調和を実現する視点

働き方の見直しを進め、仕事と生活の調和を実現することは、少子化対策の観点からも重要であり、こうした取り組みを一部の先進的な取り組みにとどめたり、それぞれの家庭に委ねるのではなく、行政、地域、事業所等がそれぞれ連携して取り組みを進めます。

### (5) すべての子どもと家庭への支援の視点

「児童の権利に関する条約」にうたわれているように、子どもの人権の尊重と最善の利益を主として考え、社会的養護及び虐待をはじめとする様々な理由により保護を要する児童はもちろんのこと、広く「すべての子どもと家庭」への支援という視点から、多様なニーズに対応した取り組みを進めます。